

## 富津市立図書館整備基本計画(素案)にかかる意見の内容と意見に対する考え方

※ご意見は内容ごとに分類し、要約しています。

令和3年12月

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	富津市立図書館整備基本計画(素案)公開に伴う意見	
実施期間	令和3年10月19日～令和3年11月18日	
意見の件数	28件	
	意見の内容	意見に対する考え方
	<b>【図書館設置賛成の意見】</b>	
	これからの子供たちのためにも、図書館はあった方がよいと思い賛成。 イオンの賃貸料がいくらになるか公開してほしい。	イオンモール富津からは、地域貢献・社会貢献の観点から、賃借料月額10万円(税別)の提示を受けています。
	富津市の図書室は利用せず、一部制限はあるものの他市の図書館を利用している。少なくとも他市並みの施設にして欲しい。 また、契約期間が10年らしいが、継続の計画はあるのか。	施設の規模からしても、他市と同等にはなりません。市民が利用しやすい図書館を目指すことが重要と考えます。 契約期間は、営業開始日から10年間の予定であり、その後は適切な時期に再契約の協議を進めます。
	タブレット等の電子機器ではなく、本を読むことが子供の成長に必要。イオンの中に設置されれば、気軽に立ち寄ることができるので実現してほしい。	富津市子どもの読書活動推進計画に基づき、子どもが自ら読書に親しみ、読書習慣を身に付けていけるよう、年齢に合った図書コーナーを充実させ、世代別にアプローチすることで、子どもの興味・関心を促してまいります。
	イオン富津に図書館をつくるという、大きな決断に感謝します。図書館ができることで人の往来が増え、それが呼び水となりイオンが盛り上がり、街全体も活気が戻ることを期待します。 今回の市立図書館計画をめぐり、いくつかの市民団体が活動しているようだが、図書館建設後の運営、ボランティアの受け入れなども含め、情報や機会を限られた者にだけ与えるのではなく、広く市民に平等に与えて欲しい。	図書館開設後は、図書館協議会を設置し、市民ニーズを反映できる体制づくりに努めるとともに、積極的に情報発信してまいります。
	イオン富津に図書館ができるのは賛成。買い物ついでに利用できるのは便利。 やっとなパソコンやスマホで検索できるようになったが、富津市民はあまり本を読まないと思う。 (公民館等の)図書室には本がそろってないので、本好きな私には開館が待ち遠しい。	人口1人当たりの貸出冊数について、本市は0.50冊と県平均4.61冊を大きく下回っている状況です。そのため、多世代が気軽に立ち寄れる図書館を目指してまいります。
	当面、不十分でも市立図書館という役割をはっきりさせるのは必要だ。	市立図書館を基幹館と位置づけ、公民館図書室、市民会館図書室、移動図書館と連携を図りながら、市内全域の図書サービスのネットワーク化を図ってまいります。

<p><b>【経費についての意見】</b></p>	
<p>6月に作成された案件には、想定費用として、準備経費（造作・照明・各種機器・什器・備品等の内装設計施工、図書購入費）：令和4年度 約190,000千円～250,000千円          運営経費（指定管理運営経費、図書購入費、水道光熱費、賃料）：令和5年度～ 約70,000千円/年～110,000千円/年 とあるが、年間の運営経費が高いが、これはそのまま採用か。何十年後には、普通に図書館が建つ金額なのでは。運営費の検討を重ねて、税金を大事に使って欲しい。</p>	<p>年間の運営経費として、人件費、資料費、光熱費、賃料などの費用であり、年間の開設日数、開館閉館時間、スタッフの人数などを具体的に検討し、積算してまいります。</p>
<p><b>【計画についての意見】</b></p>	
<p>示された（素案）は、市民の希望が概ね盛り込まれ、良い内容であるが、この計画に示されるすべての案を盛り込まれるか心配であり、それぞれの機能をどうゾーニングするかが大事。          実際にできたものが、自分のイメージと異なっているとといった不満の声が出ないようにするためにも、（素案）を（案）にする12/7の社会教育委員臨時会議において、参考資料として、市がイメージする図書館レイアウト（ゾーニング）を開示してもらいたい。</p>	<p>それぞれの機能を、限られた面積の中でどう盛り込んでいくかは、重要な問題と認識しています。          図書館レイアウト（ゾーニング）のイメージを公開することは、共通理解を図るうえで有益であると考えますので、ご意見のとおり、整備計画（案）に記載してまいります。</p>
<p><b>【図書館の施設設備についての意見】</b></p>	
<p>若い子のために自習室を設けて欲しい。透明の仕切りで外から見えるようにし、私語禁止のルールを設け受験生や社会人も使用できるようにして欲しい。</p>	<p>一人で読書や学習に没頭できるよう、音や空調などの快適性に配慮し、ゆとりある学習空間を確保したいと考えています。          限られた面積の中で、どの程度自習スペースを確保できるか、様々な意見を参考にしながら、検討してまいります。</p>
<p>富津公民館2階の展示物は、歴史的、文化的に価値のあるものなので、市立図書館に展示するのはいかがか。たとえ図書館の開設期間が10年だとしても、資料はその期間絶えず人目に触れることになり、富津に親しみを持ってもらうには必要不可欠ではないか。          すべての人に満足のいくものを作ることは不可能だが、少しでも市民が行きたいと思う場所になることを願う。</p>	<p>郷土資料に関するコーナーを設け、期間ごとに、「古墳のまち」や「鋸山の産業遺跡」など収集した資料を展示するとともに、電子化した資料の公開など、様々な媒体で発信し、市民の郷土への理解を深め、郷土愛の醸成に努めます。</p>
<p>わが子が、木更津の旧そごう建物の中の自習室をよく利用しており、遅い時間まで開いており、部活帰りでも利用できるというのが魅力ということです。（富津市立図書館にも）素敵な自習スペースを要望します。          また、図書館帰りに学生が青堀駅まで歩くのは防犯上よくないので、バスを充実してほしい。</p>	<p>閉館時間が遅いことや休館日が少ないことから、学生の学習利用や会社帰りの社会人の利用も可能となると考えています。また、一人で読書や学習に没頭できるよう、音や空調などの快適性に配慮し、ゆとりある学習空間を確保したいと考えています。          イオンモール富津からの交通手段につきましては、1時間に1本程度ではありますが、青堀駅経由のバスが運行しており、イオンモール富津発の最終便は21時台となっておりますので、ご利用いただきたいと考えます。</p>

【その他の意見】	
<p>p6「子どもへのサービス」の項目の中で、子どもたちが本と触れあう機会と環境づくりに努めるとあるが、少子化の時代、子どもたちに図書館・図書室に関心をもってもらい、利用率向上が図れるよう、各小中学校に「読書指導員」を配置し、「調べる学習」を実践できるよう、具体的な実施計画を作成する際に検討してほしい。</p>	<p>子どもたちの読書環境をより良くするため、小中学校及び関係課(学校教育課)と連携してまいります。</p>
<p>市立図書館は、市民の永年の要望であり、設置に踏み切ることには大賛成で、基本方針にも基本的に賛成。しかし、基本方針を実現するうえで「イオンモール富津内」に設置し、「指定管理者制度」を利用することには問題があると考えます。</p> <p>○ イオンの空きスペースを破格の賃借料で利用することが計画の前提となっているため、スペースは狭く、基本方針を十分に実現できない。例えば、市立図書館の閉架スペースの不足に対応するため、富津公民館を郷土資料を中心とした閉架書庫として活用するとあるが、①富津公民館からイオンまでは距離があり、これまで図書室を利用してきた、車を運転できない富津の住民への対応が必要ではないか。②郷土資料は色々あり、特に古文書などは現物保存が原則であり、その活用も考えると富津公民館図書室は狭すぎるのではないか。ただの倉庫になってしまう心配があり、もっと広い別の場所で保存活用すべき。③スペース的限界から蔵書8万冊、公民館図書室等含めても14万冊程度であり、木更津36万冊、君津57万冊と比べても大きく見劣りする。いずれもっと広いスペースが必要となる。このことだけでも、基本方針をイオンの中で実現することは困難であると考えます。</p> <p>○ 予定されているスペースは、窓のない密室で、コロナの経験から壁に穴をあけて換気するような特段の対策が必要であると考えます。</p> <p>○ 図書館は、公設公営が原則で、図書館協会によると図書館に指定管理はなじまない結論付けている。富津市は図書館を直営するだけのスタッフが不十分であることは理解しているが、指定管理者制度の下では、契約期間が限定され、経営を維持するために人件費を抑制せざるを得ず司書などの専門的能力の向上に限界が生ずる。将来のことを考えるなら、公設公営にすべき。</p> <p>(結論)</p> <p>現在の計画は、過渡的なものにならざるを得ず、図書館協議会に公募委員を加え、市民がより積極的に図書館を利用し、より充実した公設公営の図書館を建設するステップとして位置づけ、そのための検討を開始することを求めます。</p>	<p>富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。</p> <p>イオンモール富津施設内の換気については、商業施設として吸排気システムを完備していると伺っています。</p> <p>市立図書館には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考えます。その運営手法として、指定管理者制度の導入を予定しています。</p>
<p>○ 新しい警察署と一緒にできれば、安全で、市の中心になる。</p> <p>○ イオンはさびれていて今後大丈夫か心配。地理的に端すぎるので、佐貫あたりがよい。廃校利用はよい。具体的にどれくらいかかるか試算してほしい。バスを走らせるなど交通について考えて欲しい。現在、君津の図書館を利用しているが、市民でないと利用できないサービスもあり、富津の図書館は必要だ。</p> <p>○ 富津公民館図書室を利用しているが、イオンは行きにくいので、残してほしい。</p> <p>○ イオンが何年もつかわからないが、現在の図書購入費を見ると、今中央図書館を作って本を増やしていかないと、すぐに絶版になる状況もある中、遅れた分だけ良い本が買えなくなる。</p>	<p>今回の図書館設置については、イオンモール富津から、同施設の空きスペース活用についての提案を受け、市が考える時代のニーズに合った図書施設の設置を、双方協力のもとイオンモール富津内に実現しようとするものです。市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。</p> <p>廃校利用については、廃校となった校舎の老朽化等により、改めて社会教育施設として使用する場合、大規模改修や、改築が必要となる可能性が高く、多額の費用が予想され現実的ではないと考えます。</p> <p>富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。</p>

<p>○ イオンモールが撤退する可能性があるのであれば賃貸借契約のみで、運営は現在の職員で行えばリスクを小さくできるのでは。</p> <p>○ イオンモールと賃貸借契約だけで、運営は現在の職員でできないですか。できないとしたらその理由は何ですか。</p>	<p>撤退に関する情報については、イオン側からも聞いていませんし、イオン側としても図書館ができることによる集客力の向上を期待しているものと考えます。また、本市が考える図書館の運営には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考えます。その運営手法として、指定管理者制度の導入を予定しています。なお、市が直接運営する場合は、新たに10人程度の人員が必要となります。</p>
<p>富津市の大事な財産である図書館づくりの工程があまりに拙速。もっと時間をかけて市民と行政が一緒になって作り上げるべきではないか。富津イオンとの契約の関係があることは承知しているが、(素案)に示された工程の見直しはできないか。その見直しの中で、富津イオンのあの場所がいいのか、指定管理者制度を導入することが適切なのか、議論され問い直されると思う。公立図書館は本来、市が主体となって管理運営すべき。</p> <p>どうしても市が富津イオンでの図書館づくりを進めたいのであれば、基本計画(素案)に示されている内容を着実に実行してほしい。運営形態については、業者に丸投げするのではなく、市民の声が反映されるよう公募による市民参加の「図書館協議会」の設置を期待する。また、地域住民のことを考えると富津公民館の図書室は全面的に廃止するのではなく残してほしい。</p> <p>これまでパブコメなどで市民の意見を聞く機会が設けられているが、結果的に市民の声が反映されているようには思えず、強い不信感を持っている。市民の生の意見や考えは市長に届いているのか。今回の図書館に関する市民の声を是非とも市長に届けて欲しい。</p>	<p>当市が考える図書館の運営には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考えます。その運営手法として、指定管理者制度の導入を予定しています。指定管理者との協定の中で、この基本計画に沿った運営をすることとし、市監督の下、管理運営してもらうという形となります。</p> <p>また、富津市立図書館整備基本計画は、社会教育に関する計画立案を職務とする社会教育委員会が立案しています</p> <p>社会教育委員会会議は、これまで、数年にわたって図書施設や図書館について検討を行ってまいりました。その過程では、今回頂いたご意見と同様の意見も交わされ、検討を重ね、今日に至っています。</p> <p>イオンモール富津からの提案を公にしてからも、市民からのご意見を、直接、また社会教育委員を通していただいていますし、更には、(素案)の段階から市民の皆さんの声をお伺いするため、今回意見募集を行ったところであります。</p> <p>いただいた貴重なご意見・ご要望は、できる限り基本計画に反映するとともに、現在策定中の市立図書館整備基本計画(案)がまとまりましたら、パブリックコメントにより市民の声を伺ってまいります。</p> <p>また、図書館開設後は、図書館協議会を設置し、市民ニーズを取り入れ、反映できる体制づくりに努めます。</p> <p>富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。</p>

今回、イオンの中に図書館を作るとの計画を聞き、とても期待を持った。  
市庁舎レストラン棟を「子ども図書館」という要望を出したが、市は、リモートワークなどのスペースとして準備を行っているとの回答。市民にとっては、あの広々とした芝生スペース、開放的なガラス張りの明るい建物、そのような環境で親子が豊かな時間を過ごすことができれば素晴らしいと思う。  
富津市が目指す「子育てしやすいまち日本一」のシンボルに、目に見える形としてあのレストラン棟が良いのではないかと。あの場所で職員がリモートワークをしている姿を想像すると、もったいないと思う。ぜひ再考願いたい。  
図書館建設に関し、市民が誇れる図書館として、計画の段階から市民がメンバーとして委員会に参加できることを望む。

レストラン棟は、リモートワークやコワーキングスペースとしての使用に対応した施設としての整備に向けた準備がすでに始まっているため、残念ながらご希望に沿うことができません。しかし、対象を子どもに特化した「こども図書館」の発想は、今後参考にさせていただきます。  
富津市子どもの読書活動推進計画についても、第2次計画の検討を進めるとともに、読書活動の普及啓発により一層努めてまいりますので、今後ともご協力をお願いいたします。

近隣の図書館と比べ蔵書数も極端に少なく、長い間、不便な思いをしてきた者としては、イオンモール利用というよりは、市の図書館を早く建設してもらいたい。富津市は、文化レベルの向上や幼いころから本に触れるなどということは殆ど考えていないのだろうと思うことが多い。  
イオンモールだと初期投資が少なくできるというならば、今までの地区にある公民館での蔵書も増やし、新刊本も増やし、車の利用ができない者に対しても近くの公民館を利用できるように考えてほしい。司書の人数も増やしてほしい。  
(素案)に富津公民館を郷土資料を中心とした閉架書庫として活用と書いてあるが、今までどおり、図書室として開放し、高齢者にとっても気兼ねなく利用できる場として残してほしい。

市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。  
また、市立図書館を基幹館と位置づけ、公民館図書室、市民会館図書室、移動図書館と連携を図りながら、市内全域の図書サービスのネットワーク化を図り、利便性の向上にも心がけてまいります。  
富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。

○ 図書館は、自治体住民の生活・文化施設として、住民が生涯にわたる在り方、生き方を自らが決めて学ぶことができる場所で、多様化する住民の要求に応えるべく資料の増加と成長を続けるものだと思う。図書館計画、策定について、市民参加のワークショップ、意見交換会を開催して市民の生の声を市へ届けられる場が必要だと思う。計画の早い段階（令和4年4月ごろ）から、外部の専門家やボランティア団体、図書関連の市民団体、学校教職員、一般公募を含む、図書館設置検討委員会を設置して、積極的に意見を求め、図書館計画に反映していくことができると思う。また、専門家をよんで、市の職員、社会教育委員と市民が共に学ぶ場を設けてほしい。

○ 図書館は、積極的に社会参加をし、人と人との結びつきをひろげ、住民自治を育て、地域おこしの主体となる人づくりを応援する機関であり、図書館の地域づくりとして有効な性格を考えると、図書館は短期、中期、長期の計画を立案、作成し、その計画が富津市の施策として実行されるべきで、その計画が実行されたかどうかチェックする仕組みを設ける必要がある。富津市みらい構想の中にも図書館計画をしっかり入れ、中期、長期の計画を示してほしい。

○ 図書館長は、行政的な管理者にとどまらず、司書である職員の代表であり、専門家として、富津市における図書館計画全体を推進し、図書館サービスのあらゆる面にわたり、理解と見識をもち、図書館職員の力をフルに引き出す任務をもつため、館長には、司書資格があり、行政的能力と共に豊かな専門的知識と図書館経験が求められると思う。

○ 「子どもの図書環境」に力を入れてほしい。子ども達が無限の広がりをもつ本の世界に親しみ、人生全体にわたり読書が続けられるよう、人的環境、物的環境共に充実させてほしい。イオンモール富津の立地や安全面、交通面から考えて、利用しやすいのは、ごく限られた子どもだけ。前述のことが十分に考慮され、魅力的で子どもが親しみやすい建物の「こども図書館」の開館を検討してほしい。また、各地域にある公民館図書室の更なる充実をお願いしたい。富津公民館図書室は唯一1階で、子どもや高齢者の利用者も多いので、存続してほしい。中央図書館が開館した際には、教育機関（市内各小中学校、幼稚園、保育園）との連携を密にしてほしい。団体貸し出しやリクエストがスムーズに行えるよう、全ての保育園、幼稚園、小学校へ移動図書館車を巡回させてほしい。市内全域どこに住んでいる子どもでも、平等に図書に親しめる様、環境を整えることを望む。図書館との連携をより充実するためにも、学校に学校司書、図書室専任の職員の配置を求める。それにより富津市の子ども達が読書に親しむ素地ができると思う。

○ 市民の声が届きやすい図書館にしてほしい。指定管理者制度を利用するにあたり、契約時には問題点や改善点を定期的（3カ月から半年ごとなど短期間）に見直しできるような覚え書きが必要であると思う。

○ “ボランティアの有効な活用を図る”とのことですが、ボランティア側も利用する側も安心と思うので、研修会や勉強会を設け、ボランティアの教育の機会を作っていただきたい。

○ 図書館までの交通機関を、時間も含め分かりやすく示してほしい。また、誰でも行きやすくわかりやすいような看板や経路表示の設置もお願いしたい。

市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。

運営にあたっては、教育委員会（生涯学習課）が総括し、市立図書館が独自に行う事業も含めて、PDCAサイクルに則って点検評価をしながら連携を図って進めてまいります。また、図書館開館後は、公募による市民参加を念頭に、図書館協議会を設置し、事業の内容を確認するとともに、市民ニーズを取り入れながら、図書館運営に反映できる体制づくりに努めます。

図書館の人員体制につきましては、指定管理者募集の段階から、有資格者の任用など十分検討してまいります。

対象を子どもに特化した「こども図書館」の発想は、今後参考にさせていただきます。

富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。

教育機関との連携については、館内をはじめ、幼稚園・保育園や小・中学校へ出向き読み聞かせを行うことや、図書ボランティアなどと連携しながら本への関心を高めてもらうなど、子どもたちが本と触れあう機会と環境づくりに努めます。また、子どもの読書活動や学習活動を支援するために、市内の公立小学校・中学校等と更に緊密に連携し、協力していく必要があり、市内小中学校のニーズに応じた積極的な支援を行い、団体貸出を奨励するとともに、学校内での本を活用した学習を支援します。

専任の学校司書の配置につきましては、関係課（学校教育課）と連携を図ってまいります。

指定管理者制度につきましては、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現のためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考え、導入を予定しています。管理運営にあたっては、基本協定、年度協定を結ぶ際に内容を精査してまいります。

図書館運営にあたっては、ボランティアの存在は必要不可欠と考えています。ボランティアの研修の機会については、今後検討してまいります。

また、図書館までの交通機関や経路等のつきまちは、今後周知してまいります。

【図書館設置反対の意見】	
<p>イオンモール富津内への富津市立図書館の設置について、今後の市の人口の行く先を考えるに、まさに不要な箱モノとなりかねないので反対。</p> <p>人口の大半が大堀・青木地区に集中しているとはいえ、金谷や関豊方面からは遠い。</p> <p>移動図書館をもっとPRする方が望ましい。</p>	<p>「富津市図書システム」から図書を予約すると、市立図書館に蔵書してある図書を各公民館や移動図書館(15ステーション・令和3年10月時点)で受け取ることができます。</p> <p>このような形で、図書サービスは、市立図書館、公民館図書室、市民会館図書室、移動図書館全体で、連動し、利便性の向上に努めます。</p>
<p>(図書館建設には) 基本的に反対。</p> <p>近年、図書館に対し、本の著作権からの著作権侵害が提起されているが、この件はクリアされているか？</p> <p>全富津市民(特に小中学生)がイオンモールに行くのは大変。</p> <p>図書館は、運営費が予想以上にかかる。代替え案として、年に一度、アマゾンのギフト券を市民に送ってはどうか。</p>	<p>本の貸出しについて、著作権者の許諾なく貸出することは可能であると理解しています。また、本を無料で貸し出すことは、図書館法で規定されており、公立図書館の基本的機能と考えます。</p>
<p>全国の自治体(市)のうち、公立図書館のないのは富津を含む8市。イオンからの提案と聞いているが、大型商業施設の空きスペースに開設することは賛成できない。富津イオンの利用状況調査が先ず必要。レファレンスサービス・蔵書・閲覧施設の整った他市の図書館をこれまで通り利用する。今更敢えて富津イオン内に開設しなくともというのが正直な気持ち。少子高齢、人口減少社会にあっては、広域行政サービスとしてネットワーク化し、いつでも誰でもどこの図書館であっても利用できるよう整備されることを望みます。</p>	<p>平成30年度に行った子ども・子育て支援事業計画策定に係るニーズ調査や市民アンケート調査においても、図書館を望む声が多く寄せられてきました。</p> <p>今回の計画は、本市にとっては初期導入費用や維持管理費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えています。</p>
<p>図書館をイオン富津に設置しようとする基本計画は、感染症や、イオン撤退のリスクの点から反対。見直しを求めます。市民が末永く利用できる図書館を基本計画とし、市民参加の委員会を作ったうえで、じっくりと再検討してほしい。</p> <p>本計画で廃止とされている富津公民館図書室は、身近で利用しやすい図書館の視点から見直し、地域の文化活動の中心に図書館活動は不可欠であることから、3つの公民館を活用した分館体制について基本計画に盛り込むとともに、公民館図書室を充実してほしい。</p> <p>市所有の土地や空き公共施設を有効活用しての市立図書館の検討を提案します。</p>	<p>今回の計画は、本市にとっては初期導入費用や維持管理費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えています。</p> <p>富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。</p> <p>公民館図書室を含め、図書サービスは全体で連動し、利便性の向上を図ります。</p>
<p>○ 多くの市民が心配・疑問を持っているので、富津イオンが撤退した場合の契約内容を明らかにしてほしい。</p> <p>○ 「なぜ急ぐのか？」2018年の富津イオンからの提案を断ったのに、本年6月の議会全員協議会に突然出され、今年度中に計画策定となっている。情報を明らかにして市民レベルの調整・協議を十分に進めないと市民に愛される図書館はできません。</p> <p>○ 富津市立図書館整備基本計画(素案)と(実際の)計画には大きな乖離がある。(素案)には「一人で読書や学習に没頭できるよう、音や空調などの快適性に配慮し、ゆとりある学習空間を確保」とあるが、窓のない図書館では実現できません。市民と協議を重ね、市有地につくるべき。候補地として、①中央公民館を本格的に改修②佐貫に建設予定の警察署の隣、などが考えられる。</p>	<p>協定書の締結や、定期建物賃貸借契約の締結の中で、本市に不利益にならないよう、対応してまいります。</p> <p>図書館建設については、過去にも市用地を活用した図書館建設は計画されましたが、市の財政状況等により実現に至りませんでした。図書館設置に関する情報は、市ホームページで公表する他、安心安全メール、SNS等で引き続き発信してまいります。</p> <p>行財政改革の途上ではありますが、今回のイオンモール富津からの提案は、本市にとっては初期導入費用や維持管理費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えています。</p>

○ イオンモール富津内の「富津市立図書館」の10年後の計画はどのように考えているのか、また、10年後の再契約に懸念はないのか。

「3 施設の概要」に、契約期間は10年で、その後適切な時期に再契約の協議を進めるとあるが、イオンモールは28年が経過し、10年後は築38年となる。市庁舎も同時期の建設で、老朽化による施設改修工事が行われると聞いている。10年後の再契約が同様の条件で可能なのか。10年先の見通しが不透明は計画では、初期費用が抑えられても、基本コンセプトにある「市民の生涯学習の拠点施設」になるかは疑問である。次世代につなぐ図書館の建設を望みます。そのためにも、10年、20年、30年先の見通しをもった計画を希望します。

○ 指定管理者制度の導入にあたり、運営経費7千万～1.1億円のうち、指定管理費、スタッフの職種と人数はどれくらい見込んでいるのか。

基本方針、各種サービスについては、とても素晴らしい内容で、市直営の図書館でもかなりの努力と能力が要求される内容と思われる。特に、「児童・生徒へのサービス」、「学校支援サービス」、「高齢者サービス」、「レファレンスサービス」については、まるで、児童館職員、学校司書、社会教育主事を兼ね備えた能力を持った内容をこなすことが、契約期間5年更新の「指定管理者」の専門スタッフで果たして可能か。「効率的・効果的な運営のため…民間事業者の幅広い技術や知識を活用する」ことと上記のサービスが可能か。運営経費が安ければよいという問題ではない。自前で専門職を育て、「市民が生涯、学習できる環境を整える」ことが必要ではないか。

○ 窓がない構造、それに狭いので圧迫感があり、図書館にふさわしくない。  
○ 富津は財政苦しいなら、君津にあるのだから必要ない。

イオンモール富津内への図書館設置につきましては、これまで財政事情等により図書館建設を断念せざるを得なかった本市にとって、より充実した図書館サービスを提供するための大きな前進となるものであり、また、初期導入費用や維持管理費の面で大きなメリットがあると考えております。おっしゃるとおり、契約期間は10年ではありますが、その先についても、適切な時期に再契約の協議を進めてまいります。

年間の運営経費として、人件費、資料費、光熱費、賃料などの費用であり、年間の開設日数、開館閉館時間、スタッフの人数などを具体的に検討し、積算してまいります。

商業施設という、図書館としては特別な環境ではありますが、商業施設の中に図書館を持つ他の自治体の先行事例等を参考に、図書館としての環境づくりに努めてまいります。

市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。

<p>イオンに作ることに反対。また、指定管理者に任せることも反対。</p> <p>また、1か月10万円の賃借料という安い賃借料につられてはならない。10年後、20年後のことを考えると、10年間13億円や賃借料を払い続けるよりも、きちんとした図書館を建てる方が安いと思う。</p> <p>また、建設予定地は、学校跡地は無理がある。第1候補は、市役所正面、階段の右側の空き地。</p> <p>運営は、指定管理者に税金を使うことをせず、近隣市のように市自身が行う方がよい。</p> <p>イオンに作ることにによりたくさんの方の不都合が起きることを心配している。</p>	<p>今回の計画は、当市にとっては初期導入費用や維持管理費用が抑えられ、イオンモール富津にとっては公共の施設を導入することで、地域貢献・社会貢献に寄与する観点から、互いに利点があると考えています。また、費用の面については、(素案) p10の「12 費用の検討」をご参照下さい。</p> <p>市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。</p> <p>当市が考える図書館の運営には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考えます。その運営手法として、指定管理者制度の導入を予定しています。</p>
<p>○ 利用者が少ない中で、新たに図書館を作る必要があるのか、現状のままでよいのではないかと。まずは利用者を増やすことが先ではないか。</p> <p>○ 現在の図書関係の年間事業費用が13,000千円～15,000千円なのに、財政がひっ迫している中で、新たな図書館を設置したら将来の若者たちの負担が増えるだけではないか。事業費用10年間で13億円以上をどうやって賄うのか。</p> <p>○ そもそも、10年間で13億円以上かかるのが理解できない。</p>	<p>図書館への市民ニーズが高い中、イオンモール富津内への図書館設置につきましては、これまで財政事情等により図書館建設を断念せざるを得なかった当市にとって、より充実した図書館サービスを提供するための大きな前進となるものであり、また、初期導入費用や維持管理費の面で大きなメリットがあると考えております。</p> <p>また、市立図書館を基幹館と位置づけ、公民館等図書室、移動図書館と連携を図りながら、市内全域の図書サービスのネットワーク化を図り、利用率向上を目指してまいります。</p>
<p>○ 余りにも全て網羅しすぎている。人口4万人の市にふさわしい図書館の在り方を考えているのだろうか。</p> <p>○ 車を運転しない私にとって、イオンモール富津は、公共交通を利用して行くのには大変不便なところにある。</p> <p>○ 窓が無く天井が低く(素案)7の(4)にあるような場所としては全然ふさわしくない。あの建物は読書をして、目を休めようと窓の外を見ると、緑が見えるような所ではない。問題となっている換気は十分に行われるのだろうか。</p> <p>○ 若い人に「どんな図書館なら行くか」と尋ねたところ、「全ての漫画が読める所」との答えが返ってきた。何かに特化したユニークな図書館を富津市の特徴として打ち出すのはいかがなものか。</p> <p>○ 必ず第三者を加えた図書館運営委員会を作って運営してもらいたい。</p>	<p>市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。</p> <p>商業施設という、図書館としては特別な環境ではありますが、商業施設の中に図書館を持つ他の自治体の先行事例等を参考に、図書館としての環境づくりに努めるとともに、施設整備について最良な環境となるようイオンモール富津と協議してまいります。</p> <p>幅広い年代に対応していくのはもちろんのこと、若い世代のニーズの把握にも努め、利用率の向上を図ってまいります。</p> <p>図書館開設後は、図書館協議会を設置し、市民ニーズを取り入れ、反映できる体制づくりに努めます。</p>

読書の面白さや大切さ、図書館の必要性を心から感じているが、富津市においては地域の広さなどの条件から、建物ではなく、地域ごとに学校、公民館図書室の連携と充実を図ることでクリアしていけばよいし、多くの住民は財政難をしっかりと受け止めていたと思う。

○ 他市での例のように図書館づくりには十分時間をかけ住民の声を大いに反映してもらいたい。そのためにも、意見交換やワークショップ、専門家の意見を取り入れてほしい。

○ 富津市らしい図書館！（コンセプト案）

- \*ソフト面
  - 本にゆったりとむかえる図書館
  - 「知る」「考える」「関く」を生み出す図書館
  - 富津市の自然・産業・歴史が学べる図書館
- \*ハード面
  - まちのシンボルとなる魅力ある図書館
  - 富津市の自然が感じられる図書館
  - 住民が利用しやすい図書館

○ 富津市の図書館ってどこ？と言われぬように。市民はもちろん市外の方にも、どこにあるか知ってもらう必要があるため、近い駅や街角、イオンモールの外壁や入口等に図書館の看板を設置してほしい。また、イオンモールでは、自然が見える、天井が高く、開放感のある図書館は難しい。自然採光はできないし、館内放送やざわめきは大丈夫か。

◎小さくたっていい！広い富津市のあっちにもこっちにも図書の場所を！

とてもよい場所なので、富津公民館図書室は残してほしい。

◎「イオンモールに図書館」のリスクが心配です。（素案）に、運営費に毎年1億円とあったが、10年後のために図書館預金してほしい。子ども図書館に予算を回すのはどうか。初期費用はある程度かかるが、初期の準備は業者でお願いし、直営とすれば予算を抑えられるのではないか。指定管理になると、図書室、移動図書館とは分断されかねない。まして、学校図書への援助、連携は遠のくと思う。どこまで市が管理できるか見えてこない。直営にして現在の司書を図書館の司書にしてほしい。

「商業施設内への設置」は図書館の目的にはそぐわないと学んできたので、イオンモールに図書館を建設予定という情報に、大変衝撃を受けた。本来、図書館は無料で知的な学びが保証されるべきなので、そこに消費を期待する目的が加わることは本来の図書館の在り方とは違って来る。もし、それが現実となったら本当に残念。

市民の生涯学習の拠点施設として、図書館のサービスを提供するための環境整備は重要な市の責務です。そのため、1年でも早く図書館サービスを提供できることが重要だと考えます。

イオンモール富津内への図書館設置につきましては、これまで財政事情等により図書館建設を断念せざるを得なかった本市にとって、より充実した図書館サービスを提供するための大きな前進となるものであり、また、初期導入費用や維持管理費の面で大きなメリットがあると考えております。

また、市立図書館を基幹館と位置づけ、公民館等図書室、移動図書館と連携を図りながら、市内全域の図書サービスのネットワーク化を図ってまいります。

また、看板表示につきましては、どなたから見てもわかりやすく見やすい表示について、今後、イオンモール富津と協議してまいります。

富津公民館図書室は、ご意見のとおり、当面、継続してまいります。今後、閉架書庫の確保の必要性が考えられるため、公民館図書室のあり方も含め様々な会議の場で検討してまいります。

富津市立図書館のイオンモール富津内への設置には基本的に反対。  
その理由①指定管理者制度とセットであること。②イオンモール富津との契約は10年であること。10年先、図書館をどうするのか計画が示されていない。老朽化した商業施設の一室に設置することは、持続可能ではない。③一か月の賃料が10万円（消費税別）と格別に安い。つがる市立図書館の賃料は一か月200数万円と聞く。イオンが「地域貢献だから」と言っても、相手は企業である。採算の取れないことはしない。何か裏があるのでは？と疑いたくなるような賃料だ。5年先、10年先が怖い。④長い間市民は図書館を求めてきたが、あまりにも突然で、市民の意見をくみ上げていない。  
今回の図書館に使う税金を、市が直接運営し、富津の自然豊かな環境を活かした場所に、子どもたちが安心して利用できる図書館の建設に取り組んでいただきたい。

当市が考える図書館の運営には、多様化する市民ニーズへの柔軟な対応、企画・アイデアを活かした特色ある事業の実施、また、効果的・効率的な図書館運営の実現が求められます。そのためには、民間事業者の幅広い技術や知識を活用することは有益と考えます。その運営手法として、指定管理者制度の導入を予定しています。

イオンモール富津内への図書館設置につきましては、これまで財政事情等により図書館建設を断念せざるを得なかった当市にとって、より充実した図書館サービスを提供するための大きな前進となるものであり、また、初期導入費用や維持管理費の面で大きなメリットがあると考えております。おっしゃるとおり、契約期間は10年ではありますが、その先についても、適切な時期に再契約の協議を進めてまいります。

イオンモール富津からは、地域貢献・社会貢献の観点から、賃借料月額10万円（税別）という説明を受けています。

また、富津市立図書館整備基本計画は、社会教育に関する計画立案を職務とする社会教育委員会が立案しています。社会教育委員は、市民の意向を社会教育行政に反映させるための会議のメンバーとして学校教育・社会教育・家庭教育に関する各団体や学識経験者から選ばれています。

社会教育委員会会議は、これまで、数年にわたって図書施設や図書館について検討を行ってまいりました。その過程では、今回頂いたご意見と同様の意見も交わされ、検討を重ね、今日に至っています。

イオンモール富津からの提案を公にしてからも、市民からのご意見を、直接、また社会教育委員を通していただいていますし、更には、(素案)の段階から市民の皆さんの声をお伺いするため、今回意見募集を行ったところであり、いただいた貴重なご意見・ご要望は、できる限り基本計画に反映するとともに、現在策定中の市立図書館整備基本計画(案)がまとまりましたら、パブリックコメントにより市民の声を伺ってまいります。

また、図書館開設後は、図書館協議会を設置し、市民ニーズを取り入れ、反映できる体制づくりに努めます。